## 日		等	急傾斜地崩壊対策	事業名	業 号 14	急傾斜地崩壊対 事	する地すべり対策・	人家等に対 策	分野
124年度以降技変版内容   247月度至上 Lel 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	27 年度	年度~ H2				sssn ねごし 大岡根越		長野	市町村名
H24年度実施内容   用き補質費ペース   円と4年度   円24年度   円24	0 %	<b>事業進</b>				n	i力式擁壁工 L=100r	画 概 要 ・面積・工種など)	計 區 (延長·幅員
日24年度変施内容   測量・調査・設計   3元	0 %	ベース	本工事費等べ				]上	降残実施内容	H24年度以
# 本度 全が母素質   H2/年度まで   H2/年度   H2/FE   H2/FE	0 %	ベース	用地補償費べ				l量·調査·設計 1式	度実施内容	H24年/
関連支出金 38,000 0 0 9,500 20 0 9,500 20 20 20 1,000 20 0 1,000 0 0 1,000 0 0 1,000 0 0 0 1,000 0 0 0	度以降残	H24年度	H24年度	3年度	H2	H22年度まで	全体事業費	度	年
関語	80,0		20,000	0	)	0	80,000	計(千円)	事業費
財 原 その他 4,000 0 0 1,000	38,0		9,500	0	)	0	38,000	国庫支出金	ē
一般	4,0								財 源
翻点   評価項目・指標等	34,0			-			*		ᄹ
### 2000   10戸以上 5~9戸 4戸以下	4,0		1,500			0	,		-
世	評点	ランク		価	評		頁目·指標等	評価	観点
(30 )	3		4戸以下		5~9戸	10戸以上	⋾数	保全対象人家	
(30 ) (保全対象に避難所避難経路があるか あり なし 水 計 過去の災害履歴 過去10年に1回以上 災害履歴地 なし 東悪性 (15 ) 防災計画上の位置づけ 位置づけあり 位置づけなし 小 計 別本性 異用対効果(8 / C) B / C3.0以上 B / C1.0以上3.0未満 B / C1.0未満 P 年期発現度 5年未満 5年 - 10年未満 10年以上 外 計 割面の高さ 300以上 100以上300未満 500以上10年未満 10年以上 外 計 製価の高さ 300以上 40°以上45°未満 30°以上40°未満 料面平均勾配 45°以上 40°以上45°未満 30°以上40°未満 物種平均勾配 45°以上 40°以上45°未満 30°以上40°未満 投 強風化岩 数治・その他 割面形状(1 - N - N - N - N - N - N - N - N - N -	8	۸	なし		1箇所	2箇所以上			必要性
保全対象に避難所、避難経路があるか   おり   なし   小 計   過去10年に1回以上 災害履歴地   なし   女通遮断による地域経済などへの影響   大 中   小   小   計	10	A	なし	設あり	一般施	重要施設あり	護者関連施設がある		( 30 )
過去の災害履歴   過去10年に1回以上 災害履歴地 なし	2				なし	あり	所,避難経路があるか		
重要性 (15 ) が計画上の位置づけ 位置づけあり 位置づけなし か 計	23						計	1	
(15 ) 防災計画上の位置づけ 位置づけあり 位置づけなし 小 計	10		なし	歴地	災害履	過去10年に1回以上	ž.	過去の災害履	
か率性 費用対効果(B/C) B/C3.0以上 B/C1.0以上3.0未満 B/C1.0未満 A 早期発現度 5年未満 5年 - 10年未満 10年以上 小 計 斜面の高さ 30m以上 10m以上30m未満 5m以上10m未満 科面平均勾配 45°以上 40°以上45°未満 30°以上40°未満 整元 40°以上45°未満 30°以上40°未満 粉積エ、火山砕屑 粉積エ、火山砕屑 粉積エ、火山砕屑 粉積・その他 教面形状(オーバーハング、運急線、谷地 あり なし 程生の状況 不良 普通 良好 保全対象の位置 がけ下にある がけ上にある 小 計 用地等の協力が得 右名令れる ね得られるいはい 人 計 日間対効果(B/C) 10.97 評 価 の 合 計 本 日間対効果(B/C) 200円 200円 200円 200円 200円 200円 200円 200	2	Α	小		中	大	地域経済などへの影響	交通遮断によ	重要性
カ字性 貫用対効果(B / C) B / C3.0以上 B / C1.0以上3.0未満 B / C1.0末満 A	0			けなし	位置つ	位置づけあり	立置づけ	防災計画上の	( 15 )
効率性	12						計	1	i
(15 ) 早期発現度	9		B/C1.0未満	以上3.0未満	B/C1.0	B/C3.0以上	/ C )	費用対効果(	
計画   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	6	А	10年以上	0年未満	5年~1			早期発現度	( 15 )
新面平均勾配	15						計	1	
緊急性 地質状況 崩積土、火山砕屑 り丘堆積物 軟岩・その他 名	5		5m以上10m未満	L30m未満	10m以	30m以上		斜面の高さ	7
報告	3			上45°未満	40°以	45°以上		斜面平均勾配	
(25) 計画がス(オートーカク、連急線、合地 あり なし	4	٨	軟岩・その他	積物	段丘堆			地質状況	緊急性
保全対象の位置 がけ下にある がけ上にある かけ上にある 小 計 地元の協力 用地等の協力が概 協力が現時点では 名称	0	^					- ハング、遷急線、谷地	形、凸地形)	( 25 )
計画	2		良好			不良			
計画 地元の協力 用地等の協力が得 用地等の協力が概 協力が現時点では お得られる 得られていない 人 計 世域からの要望 高い それほど高くない 世域からの要望 高い それほど高くない 事業実施に至る歴史的経緯・社会的 背景 ではている。平成22年7月の豪雨時には小崩落があり、法面には湧水も見られるため、地元から対策の要望が上がっまれている。平成22年7月の豪雨時には小崩落があり、法面には湧水も見られるため、地元から対策の要望が上がっまま説明等の経緯 平成23年5月、長野市大岡支所より要望書が提出される。 平成23年5月、高齢者福祉センター並びに長野市職員へ事業説明。 解面直下の長期滞在施設は斜面崩落のあった去年の7月から受け入れを中止していることから、早期着工を要望さま頂り、景観への配 遠項目 法面下に待受擁壁を設置することにより、なるべく地形をそのままで健全な立木を残すことで、環境及び景観に配慮を頂きます。 特になし。 長野市が積極的に維持管理に介入。崩落部にはブルーシート張、土のう等の応急対策の設置を長野市で実施して 長野市が積極的に維持管理に介入。崩落部にはブルーシート張、土のう等の応急対策の設置を長野市で実施して 長野市が積極的に維持管理に介入。崩落部にはブルーシート張、土のう等の応急対策の設置を長野市で実施して 長野市が積極的に維持管理に介入。崩落部にはブルーシート張、土のう等の応急対策の設置を長野市で実施して 長野市が積極的に維持管理に介入。崩落部にはブルーシート張、土のう等の応急対策の設置を長野市で実施して 長野市が積極的に維持管理に介入。崩落部にはブルーシート張、土のう等の応急対策の設置を長野市で実施して 長野市が積極的に維持管理に介入。崩落部にはブルーシート張、土のう等の応急対策の設置を長野市で実施して 長野市が積極的に維持管理に介入。崩落部にはブルーシート張、土のう等の応急対策の設置を長野市で実施して 長野市が積極的に維持管理に介入。崩落部にはブルーシート張、土のう等の応急対策の設置を長野市で実施して して して はない はないます はないまする はないます はないます はないます はないます はないまする はないます はないます はないます はないます はないます はないます はないます はないまないます はないまないます はないます はないまないます はないます はないます はないます はないまないまないます はないます はないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	5			こある	がけ上	がけ下にある		保全対象の位	
おこの協力   られる   ね得られる   得られていない   A     熟度	19						計	1	
(15) 小 計 費用対効果(B/C) 10.97 評 価 の 合 計 A 事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景 平成22年7月の豪雨時には小崩落があり、法面には湧水も見られるため、地元から対策の要望が上がっされている。平成22年7月の豪雨時には小崩落があり、法面には湧水も見られるため、地元から対策の要望が上がっまれている。平成23年5月、長野市大岡支所より要望書が提出される。 平成23年5月、高齢者福祉センター並びに長野市職員へ事業説明。 解面直下の長期滞在施設は斜面崩落のあった去年の7月から受け入れを中止していることから、早期着工を要望さまず・景観への配	8	. A		na	ね得ら	られる			
費用対効果(B/C) 10.97 評価の合計 A  事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景 高さ35mのがけ下に高齢者生活福祉センター(長期入所施設)・大岡デイサービスセンター・ことぶき荘(短期入所背景 されている。平成22年7月の豪雨時には小崩落があり、法面には湧水も見られるため、地元から対策の要望が上がった場 23年5月、長野市大岡支所より要望書が提出される。  平成23年5月、高齢者福祉センター並びに長野市職員へ事業説明。斜面直下の長期滞在施設は斜面崩落のあった去年の7月から受け入れを中止していることから、早期着工を要望さる環境・景観への配慮項目 法面下に待受擁壁を設置することにより、なるべく地形をそのままで健全な立木を残すことで、環境及び景観に配慮では、プロジェクトとの関連 特になし。  長野市が積極的に維持管理に介入。崩落部にはブルーシート張、土のう等の応急対策の設置を長野市で実施して(H22土砂災害防止法指定)	7			に回くない	てれば	回り!		- 1110 - 1121	
事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景 高さ35mのがけ下に高齢者生活福祉センター(長期入所施設)・大岡デイサービスセンター・ことぶき荘(短期入所背景 で成23年5月、長野市大岡支所より要望書が提出される。 平成23年5月、高齢者福祉センター並びに長野市職員へ事業説明。 斜面直下の長期滞在施設は斜面崩落のあった去年の7月から受け入れを中止していることから、早期着工を要望さ 遠境・景観への配慮項目 法面下に待受擁壁を設置することにより、なるべく地形をそのままで健全な立木を残すことで、環境及び景観に配慮 での関連 特になし。 長野市が積極的に維持管理に介入。崩落部にはブルーシート張、土のう等の応急対策の設置を長野市で実施して(H22土砂災害防止法指定)	15	٨		<b>Λ Δ ≐!</b>	<u></u> =₩ /#=				,
おおおりに、長野市人間支持はり姿望書が提出される。				t) · 大岡デイ <del>!</del>	期入所施記		535mのがけ下に高齢	に至る歴	事業実施 史的経緯 背景
事業説明等の経緯				<b>≐</b> X □□					緯
虚項目				受け入れを中	年の7月から	は斜面崩落のあった去	面直下の長期滞在施設	サの経緯   余	事業説明
との関連 長野市が積極的に維持管理に介入。崩落部にはブルーシート張、土のう等の応急対策の設置を長野市で実施して (H22土砂災害防止法指定)	思9る予疋	(ひ京観に配慮	<u>-</u> 小を%9 c C C、坂項及 	まで健士な1	心がをたの	y ることにより、なるべく!		パロミジェクト	慮項目
(H22工妙灾害防止沽指定)	ている。	 野市で実施して	の応急対策の設置を長野	張、土のう等	ブルーシー			1	との関連 : 
ITUUNU) = 무판하는 무역하는 발가 절대 등꼭 제청대 회교 소비 그 소개나		7.00	#47m	±± <del>-1'</del>	10.11.00			,	
で収の合息形成   宝貝真成   概ね真成   週干数真成   期内不明   その他   日本数章		その他	動向不明	套並(無理		概ね賛成 			